

第 19 回学会報告記

(アジア太平洋経カテーテル心臓血管治療学会議 TCTAP2016)

2015 年 4 月 26 日～4 月 29 日の 4 日間、TCTAP2016 が韓国のソウルで開催されました。

TCTAP とは Transcatheter Cardopvascular Therapeutics Asia Pacific の略であり、PCI や EVT など循環器領域の血管内カテーテル治療を対象とした学会です。もともとは、韓国の Asan Medical Center の Seung-Jung Park 氏が立ち上げた、日本やその他のアジア諸国からも参加者が集まるカテーテルインターベンションのライブコースから始まったことがきっかけです。約 15 年前にアメリカのライブコースである TCT ファミリーに加わったことで欧米から著名な講師陣を招き、アジアの中心的なライブコースの 1 つへと成長し、今日では日本からも多くのファカルティが招聘されるのみならず、若手インターベンショニストらも参加し、自らの研究や症例を発表する場となっています。

今回、当院からは飯田副部長、南都先生、辻村の 3 人での参加となりました。また、昨年度まで当院で勤務されていた白記先生とも合流しました。

1. 会場

昨年同様、ソウルの Coex にて開催されました。宿泊ホテルから徒歩 5 分程度の場所で移動も非常に便利でした。会場には、PCI・EVT・TAVR などの Live 中継をはじめ、その他、口述発表、ポスター発表、企業ブースなど多数行われていました。



会場 (Coex)

2. 発表

飯田先生は、口述発表だけでなくライブや症例発表などのコメンテーターといった多数の役割をこなされてきました。アジアにおいて末梢動脈疾患に関してオピニオンリーダーとして大変活躍されておられました。その他、南都先生・白記先生・辻村が各 2 演題ずつ発表して参りました。

南都 清範 先生

「Successful Decompressive Laparotomy for Abdominal Compartment Syndrome After EVAR Due to Ruptured Abdominal Aortic Aneurysm」

「Successful Endovascular Treatment for Renal Artery Occlusion of Non-protected Side After EVAR for Juxtarenal Aortic Aneurysm Using Chimney Method」



白記 達也 先生

「Factors Associated with Wound Healing After Surgical Bypass and Endovascular Therapy for Patients with Critical Limb Ischemia Due to Infrainguinal Lesions」

「Modification of Severe Calcified Tibial Lesion by Percutaneous 18G Needle Pierce Technique」

初の海外での口述発表でしたが、まだまだ先輩方と比べて英語力に難があり、今後さらなる努力が必要と痛感いたしました。引き続き、日々の抄読会などで自己研鑽していきたいと思います。

3. 日韓交流症例検討会

4月28日夜は、昨年同様に日韓交流症例検討会が開催されました。日本、韓国からそれぞれ4演題ずつ発表されました。いずれも大変興味深い症例で、活発な議論がされていました。計3時間を超える会ではありましたが、集中して最後まで参加することができ、大変勉強になりました。





4. まとめ

初の TCTAP 参加でしたが、非常に有意義な学会となりました。今後も当院としては、臨床、学会活動と力を入れ、日々精進していきたいと考えております。以上、第 19 回学会報告記でした。